

## 磐田市文化会館建設検討委員会（第8回）会議記録

### 【日時・場所】

平成 28 年 7 月 11 日（月）19:00~21:20

磐田市役所本館 4 階 大会議室

### 【出席者】

建設検討委員会委員：青島美子、浅羽 浩、小野泰弘、佐藤典子、鈴木正善、鳥居 勤、永井聡子、  
袴田茂人、平野邦孝、村上勇夫

磐田市：酒井企画部長、清水市民部長

秘書政策課：袴田課長

文化振興課：大庭課長、小澤、丸尾、新貝

建築住宅課：渥美、高林

環境デザイン研究所：斎藤、小高

1．開会

2．報告事項

・委託業者決定

・（仮称）磐田市文化会館の基本理念及び建設位置について（第1次答申）

議事 磐田市文化会館建設の基本的な考え方・・・事務局説明

（会長）

事務局説明について質問等お願いします。

（委員）

新しい文化会館は、建物の耐用年数だけでなく実際に機能を十分使えることも考慮に入れ何年もたせると考えていますか。

（事務局）

鉄筋コンクリートの構造物は 60 年持つと言われていています。設備の更新計画を立てながら、建設は考えていきます。

（委員）

導入機能と規模の検討ですが、ホール系、創造系、交流系があり、ホールは議論の中心になり専門家もいますが、現施設での創造系はリハーサル室で交流系は売店となっています。それ以外の創造系、交流系を教えてください。

(事務局)

創造系に区分される施設は、個人練習ができる練習室、会議室など、交流系は喫茶店、レストランやお客様が開場までの時間をくつろいだりするようなロビーです。

(委員)

展示機能はこの委員会で検討することになりますか。

(事務局)

別紙 1 は、現在の市民文化会館の規模・機能の状況表です。今後、必要な機能を検討していく中で意見をいただければと思います。展示施設は交流系の機能に分類されます。

(会長)

今回を含めて 4 回の中で、答申書としてまとめていくことになります。事務局と相談しながら議論を進めていければと思います。

次に文化会館の規模、機能の検討を進めていくにあたり、現在の施設の状況について事務局の説明をお願いします。

磐田市民文化会館の規模、機能・・・事務局説明

(会長)

本日、ホール系に絞り結論を出すということではなく、豊富な情報を持つ委員の方々に他のホールのことを教えていただきながら意見等をいただければと思います。

(委員)

磐田市は市民が使うのにどの程度の大きさが一番いいかという考え方になりますか。

(会長)

備考欄にある客席数 1200～1500 席の記載について説明をお願いします。

(事務局)

客席数 1200～1500 席は、あり方検討委員会で提言をいただいております。舞台関係のところの記載は、今まで多目的ホールという話しがされてきました。例えば、クラシックやポップス、ロックコンサート、また舞踊や演劇の利用、講演会などの使用も可能なホールです。

また、磐田市では 19 年度に文化芸術振興計画を定めており、学校での授業や部活動における体験や、学習活動の機会の提供であったり、音楽や劇などの鑑賞授業としても使うことができる市民に使い勝手の良いホールになっていかなければいけないと思っています。

(委員)

客席数 1200～1500 席は 300 席も幅があります。現在 1500 席あり、小さくするのは考えにくく、チャリティー公演の時はめいっぱい使っています。要望として 1500 席は確保し、多ければ多いほど事業によると思いますが興業的には有利になると思います。

(委員)

17 万都市ですので 1500 席はあったほうが、全国大会等があった場合には必要となってきます。

今の客席はスロープで上がっていますが、中央通路の上からを使わない場合、空席になっていると、舞台上の演者は非常に悲しいものがあります。1500 席にするのであれば、スロープでなく 2 層式にし、上を閉鎖することができるのではないかと思います。そういった意味で 2 層の方が使い勝手も良く、中規模利用、大規模利用も可能かと思えます。

(委員)

それは運営の仕方であり 2 階席を閉鎖して 1 階席のみチケット販売するように、すみ分け販売をすることができます。

(委員)

新しい文化会館についての規模と機能の要望です。

客席数 1500 は 17 万都市として適切であり、舞台芸術、演劇、音楽、講演、各種行事等に対応でき、展示施設も含める会館にして欲しい。大、中、小ホールが隣接し、楽屋、リハーサル室の規模を大きく数も増やし、音楽練習が可能な部屋、研修室が欲しい。舞台、音響、照明などの設備は、専門家の意見を尊重し、楽屋とリハーサル室を同じ並びにして欲しい。高齢者等のために、エレベーターやエスカレーターを設置しバリアフリーを考慮して欲しい。トイレは洋式にして数も増やし、振興センターを隣接していると都合が良い。

(会長)

客席数は、現在の 1500 席が妥当というような声がおおかたです。

(委員)

先進地視察して検討できるといいと思います。

(事務局)

現場を見てもらうというのは大切なことです。日程調整を取りながら検討したいと思います。

(委員)

結論から言うと 1500 席を希望します。複層式かは、今後の討議の中で決定していけばいいと思います。大規模な中学校が合唱コンクールを行う場合、保護者は学年ごと入れ替えをしています。1 年が発表するときは、1 年の保護者だけ入り 2、3 年生の保護者は外で待機しています。常に満席の状況になっていま

す。小規模な中学校であれば、保護者も併せて見ることができます。年間の数は少ないですが 1500 席でお願いしたいと思います。

(委員)

大ホールは今と同じキャパがいいと思います。また、中、小ホールもあればいいなと思います。小ホールは、ゆやホールがあればいいと思います。客席のつくりは 2 層式もいいのですが、完全に仕切り、中ホールの規模でできるようになればいいと思います。

(コンサル)

大ホールを完全に仕切り、中ホールにする設備機能は費用もかかり、2 階席を使わない時は、照明で調節するなどの工夫をしたほうが良いと思われます。空調も、居住域空調と言い、客席の下から吹き上がり、無駄にならない空調ができると思います。そういったことを駆使し、中ホールがなくても、大ホールをうまく使い分けるという方法もあります。

(委員)

椅子はゆったりしたものを要望します。遅れてきた人が中に入るときに、支障なく入ることができるような考慮もしていただけないかと思います。

(委員)

全体につくりは凝らずに、シンプルなものがよい。しっかりとした照明機材を入れ、2 層にし、上は空席であっても気にならず美しく見せる方法もあると思います。

調光室が一番後ろにありシャットアウトするわけにはいかないの、その部分は残るのではないかと思います。会場そのものはシンプルにというのが、故障もなく使い勝手もよいのではないかと思います。

(委員)

2 層式の場合、1 階の 1 番奥に入ると、2 階の天井部分がせり出しているので圧迫感を感じます。天井がすぐ上にあり音響的なものはどうかと思います。現在のような、大きく開けた客席の構造であれば、音響的にいいと思います。

(コンサル)

2 階席を作る場合には、1 階席の一番後ろから、被さっても 3 列程度で、空間に節を付けることで全体に空間の魅力が増えるという面もあります。被せを多くすると良くない席が出てきます。2 階席は 1 階席ではない見下ろす面白さがあり、好みで 1 階と 2 階で選べる方が全体では客席の価値が上がると思います。1 階席と 2 階席を大きく段差をつけず、近さが圧迫感にならないように 3、4 列程度しか被せないようにします。

(委員)

建設費用は、客席数に比例関係して高くなるのでしょうか。

(コンサル)

施設が大きければ、高いと考えることは必要かと思います。客席数が多いということは、共用部分の面積も増え、階層が増えれば廊下や階段も増えます。客席数に比例すると考えて良いと思います。

(委員)

1500席の大ホールが議論になっていますけれど、中ホールも議論していただければと思います。あり方検討委員会の提言では、市内のホールは将来一元化されます。市民文化会館は、市民の発表のする場所ということを考えると、将来的に中ホールは必要かと考えます。大ホールの中ホール的な利用方法も可能なことは理解しましたが2つあってもいいのではないかと思います。

(委員)

大、中、小ホールがあることにこしたことはないと思いますが、財源にも限りがあり、中ホールまでつくる余裕があるかを考えなければいけないと思います。1500席を2層にして、中ホール的な使い方が1つの方法であり、小ホールは今のゆやホールを大事に使い、リハーサル室を工夫して小さな劇場が実現できたらいいのではないかと思います。

(委員)

現実的に大、中、小のホールがあればいいですが、時代が時代ですから、大ホールをいかに中ホール的に使えるかという工夫をすることが現実的ではないかと思います。

(委員)

今の市民文化会館にはオーケストラピットがあり必要なものだと思います。設備的に結構お金がかかるかと思いますが費用をかけずに整備できるか伺いたいです。

(コンサル)

使用頻度が高いホールは必要だと思います。1年に数回使う施設では、組み立て型のオーケストラピットも考えられます。

(委員)

提案があったように、音楽を主にしたところ、演劇を主にしたホール、それぞれ客席の感じ1階、2階の雰囲気が違うので、いくつか視察に行った方が現実的な話ができるのではないかと思います。

(委員)

オーケストラピットは使用頻度ではなく、ホールとして、いろいろな利用があり必要なものだと思います。

(事務局)

オーケストラピットは去年度の合併記念事業、高校の吹奏楽定期演奏会、自主事業などで使用されま

した。

(会長)

客席数と、大、中、小ホールの話がありました。大ホールを中ホール的に使うのは現実的ではないという意見がありました。客席数は、皆さんの意見を伺いますと、現状の1500席は欲しいという意見が大多数です。今日のところ客席数は、そのように押えておきまして、ホールの数について意見を頂戴できますか。

(委員)

予算にも限りがあると思うので、しっかりしたものを1つつくることが大事だと思います。あれこれ拡げるより、充実した設備を整え1500席の施設をつくり、余裕ができた何年か先につくるという方法もあると思います。

(委員)

ホール以外の問題ですが、今の会館の隣に振興センターがあり、楽屋代わりに部屋の利用ができます。しかし、今度は代替施設はなく楽屋が不足しないように楽屋を整備しないと、今の文化会館の楽屋の状態では足らなくなるような気がします。そこで、アミューズ豊田を使うことは可能でしょうか。このような問題はすぐ発生すると思います。

(会長)

1つは、1500席の大ホールをつくり、中ホール等については、余裕ができれば整備していくといった意見かと思います。この点は、お考えを持ち帰り、引き続き、次回、意見を伺いたいと思います。

楽屋の話が出ましたので、先に楽屋について意見を頂きたいと思います。

(委員)

現在は振興センターを楽屋代わりに使うことができ楽屋が足りないという意識がなく、実際に振興センターがなかった時にどうするのだろうと思いました。新しい施設は、楽屋を十分に用意できないとわれます。設計の段階で、舞台と楽屋を同じように考え、しっかりつくっていただくとありがたいと思います。

また、最近の舞台は、間口よりも奥行きがある舞台が多くなっています。

(コンサル)

日本の多目的ホールは、伝統的な歌舞伎などの横幅が長く両袖が広いタイプが基本でした。しかし、洋式の演目が多く行われ、大道具を脇へ避けるような公演が少なくなり袖がいらなくなった。最近では、舞台の奥行きの表現の方が、色々な演出が可能という発想が多くなってきたこともあるかと思います。

(委員)

舞台の演目にもよります。歌舞伎などの和物の舞台の備品は尺貫法でできている。その備品の大きさ

により横長になり奥行きがない舞台となってきた。奥行きがある劇場が目指したのは、例えば洋風のダンスやオペラ公演などは奥行きがある方が、いろんな表現が可能です。ダンス公演は照明の光と影の表現を追究すると、奥行きがあった方が闇の暗い表現や光の美しい表現ができるというところがあります。

(委員)

奥行きが広い舞台になりつつあると思います。また、バトンの数をできるだけ増やしていただきたい、上に吊るものが必要でバトンがないと何もできなくなってしまう。

(会長)

楽屋のことになりますが、今は個室が1つ、中が2つ、大が1つありますが、これ以外に具体的にはどれくらい必要と思われますか。

(委員)

スタッフボランティアが振興センターの会議室を控室として利用しています。利用勝手もいいので、そういったスペースもあった方がいいです。

(委員)

どれだけ必要かと言われるとはっきりしたものはありませんが、ゆやホールやアミューズのお部屋は少し離れていますが、借りることができれば、多少楽になるという気もします。

(会長)

既存施設の活用ということで、1つ考え方もありますが、アミューズ豊田を控室に使うことができる部屋は、どのような部屋がいくつくらいあるのでしょうか。

(事務局)

和室、研修会議室、選手控室、指導員室、サブアリーナ、トレーニング室などがあります。使用人数によって部屋、施設一体を借りることができれば、会館に対する文化振興センター的な機能がアミューズ豊田の中でも確保できると思われます。

(委員)

楽屋に洗濯室やアイロン室があると、便利だと思います。

(会長)

楽屋は、一般的に1500の客席を持つホールにどのような構成で数はどの程度が一般的でしょうか。

(コンサル)

大ホールには、楽屋もたくさん必要と考えられます。楽屋は、演目、催し物の出演者の構成によって差があり、中心となる出演者は大きな公演でも30人、40人だと思います。そこへ合唱団やダンス、オ

オーケストラが加わると、楽屋ではなく控え室というものが必要になります。中学校や高校生が行う公演は、1つのクラスの40人が何時間も行うわけではなく、大勢の生徒が入れ替わりで行い、楽屋動線の流れの「入り」と「はけ」の関係がうまく作れてないと混乱してしまいます。

中心的な出演者の楽屋を整えた上で、大勢のまとまった出演者などがあることを考え付属関連諸室として、リハーサル室や練習室、大小の会議室など、廊下でうまくつなぎ、大型の催しの時には、楽屋や控え室の代わりに使う方法もあります。計画上、動線がうまく裏でつながるような効率的な計画ができると多様な可能性が広がると思います。

現施設における楽屋数は少し少ないと思います。紹介のあった施設の楽屋は、舞台のすぐ後ろに廊下があるのではなく、廊下の両側に楽屋がある構造になっています。舞台側の楽屋には窓がなく、そこを大楽屋としています。

(会長)

舞台についての意見を伺いたいと思います。舞台の形式は、プロセニウム形で間口20m奥行き15m高さ9mこれが現状です。音響反射板及びオーケストラピットが整備されています。新しい文化会館はこういう舞台にしたいという意見はありますでしょうか。

(委員)

やはり奥行きは欲しいです。正方形、もしくは奥行きが少しあるくらいの舞台が望ましいのではないかと思います。

(会長)

奥行きはもう少しあった方がいいという意見です。ホワイエにつきまして意見がありましたらお願いします。

(委員)

いろいろなタイプの劇場があり、客席周辺のホワイエと入って皆さんが集うロビーを明確に区別して雰囲気を変えている劇場もあります。中には、ホワイエとロビーを簡単な仕切りで分けているような施設もあります。ホワイエとは、オペラ劇場では、人が休憩の間集って話をしたりする場所として劇場、座席に付随した空間になります。ロビーは、交流の場として、劇場が完全に閉じているときもコンサートや催し物ができるようにすることが重要です。

(委員)

楽屋のトイレは大切です。客席でも同じですが、トイレが不足するのは非常に困ります。楽屋の中にも無いと出演者が困ります。

また、客席の床の素材には配慮していただきたいです。暗いため、硬い客席床で転倒して、けがをすることよくありますので、建築時に配慮いただけるとありがたいです。



(委員)

民間の劇場ではホワイエとロビーが一緒になっているところもあります。売店や椅子があり、客席に向かう扉があるところもあります。管理ゾーンとして閉館時の催し物がない時にうまく運用ができるように独立してロビーで何か催し物ができるスペースが分けられるといいかなと思います。

(事務局)

磐田の場合、市民文化会館のパンフレットには、風除室の内側部分にホワイエと標記されています。ロビーの標記はありません。ロビーはドアの外側の部分になります。普段、皆さんがチケットを買い、開演前に並んで待っている場所がロビーになるかと思います。

(会長)

今度は、そのあたりは、ちょっと工夫があっただけいいかなと思います。

(委員)

今の施設は、柱が多くロビーコンサートを行うには邪魔になります。柱がない方が使いやすいと考えます。

(委員)

舞台の高さは大体決まっているものでしょうか。

(コンサル)

大きな劇場はもともと高い傾向にあり、時代によっても大きく差があり、大ホールは1m前後です。

演劇の舞台では、床と舞台にあまり差がなく同一の世界を共有するというような発想がある場合に低く設定する場合もあります。小ホールでは客席のファミリーや子どもたちが、ずっと舞台上に上がれるように段差を少なくする配慮もあります。

舞台が低い時に前数列分の人頭が、後ろの人の邪魔になることを考える必要があります。オーケストラピットを作るため、平らな席が5、6列必要になり、それはよし悪しとなる。その列の方は多少見上げるようになり、前の方の頭が邪魔にならないように、千鳥配置にして舞台の床が見えるように工夫を行い平らな部分が終わったら、ある程度の段差をつけ舞台を見やすくすることは必要かなと思います。

(会長)

今日はホール系を中心に、意見を頂戴いたしました。次回までに、ホール系のこと、創造系、交流系につきまして、お考えをいただければ幸いです。

長時間にわたりありがとうございました。

次回の日程確認をして会議終了